

平成31年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金並びに  
鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

平成31年3月22日  
(一社)日本アルミニウム合金協会

平成30年度の日本経済は、輸出はおおむね横ばいとなっているものの、企業収益が過去最高を記録する中で設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、経済の好循環は着実に回りつつあり、緩やかな回復が続いている。ただし、昨年夏に相次いだ自然災害により、個人消費や輸出を中心に経済は一時的に押し下げられた。

このような経済環境の中で、当アルミニウム合金業界においては、好調な自動車等の輸出産業に支えられ、主力の自動車向け鋳物・ダイカスト需要が増加したことから、平成30年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要は1,702,200トン(対前年度比102.1%)が見込まれる。

このような状況の中で、平成31年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを次のとおり策定した。

- (1) 鋳物・ダイカスト向け二次合金地金需要については、国内新車販売が消費税増税前の駆け込み需要により、その後の反動減を考慮しても増加することが予想され、国内自動車生産が増加し、海外生産用部品の需要も堅調であることから増加が見込まれる。
- (2) 圧延向け二次合金地金・二次地金需要については、飲料用アルミニウム缶需要については横ばいが予想されるなど、横ばいが見込まれる。
- (3) 鉄鋼・その他向け二次合金地金・二次地金需要については、国内粗鋼生産が前年度をやや上回る水準と予想され、ほぼ横ばいが見込まれる。

以上の状況から平成31年度のアルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを、1,760,900トン(対前年度比103.4%)と策定した。

また、平成31年度鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通しは、307,600トン(対前年度比104.1%)が予想される。

## 平成 31 年 度

### アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通し

平成 31 年 3 月 22 日

(一社)日本アルミニウム合金協会

(単位：トン)

| 項 目       | 平成 29 年度  | 平成 30 年度実績 |       | 平成 31 年度  |       |
|-----------|-----------|------------|-------|-----------|-------|
|           |           | 見 込 み      | 前年度比% | 見 通 し     | 前年度比% |
| 鑄 物       | 348,655   | 352,500    | 101.1 | 366,200   | 103.9 |
| ダ イ カ ス ト | 1,001,042 | 1,028,000  | 102.7 | 1,072,300 | 104.3 |
| 圧 延       | 202,964   | 207,700    | 102.3 | 207,700   | 100.0 |
| 鉄 鋼・そ の 他 | 114,200   | 114,000    | 99.8  | 114,700   | 100.6 |
| 計         | 1,666,861 | 1,702,200  | 102.1 | 1,760,900 | 103.4 |

注 1) 輸入地金を含む。

注 2) 平成 14 年 1 月より、経済産業省統計の統廃合があり、鉄鋼・その他は当協会推定値となっている。

## 平成 31 年 度

### 鑄物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

(単位：トン)

| 項 目       | 平成 29 年度 | 平成 30 年度実績 |       | 平成 31 年度 |       |
|-----------|----------|------------|-------|----------|-------|
|           |          | 見 込 み      | 前年度比% | 見 通 し    | 前年度比% |
| 鑄 物       | 184,696  | 194,200    | 105.1 | 201,500  | 103.8 |
| ダ イ カ ス ト | 96,168   | 101,400    | 105.4 | 106,100  | 104.6 |
| 計         | 280,864  | 295,600    | 105.2 | 307,600  | 104.1 |

注 1) 輸入地金を含む。